

グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム 学位論文（博士）審査基準

（審査体制）

1. 専門委員会の構成

主査 1 名と副査 2 名以上で構成

2. 委員の資格

- (1) 主査は学位プログラムの研究指導教員の中から、副査は学位プログラムの研究指導教員または授業担当教員の中から、審査委員会が指名する。ただし、主指導教員、副指導教員及び申請者が共同研究を行っている教員は主査になることができない。
- (2) 副査には、学位プログラムの教員のほか、他研究科、他大学の大学教員、またはそれと同等以上の研究業績を有すると審査委員会が認めたものを加えることができる。
- (3) 副査には、海外からの教員または産業界からの教員を 1 名以上含める。また、申請者の主指導教員及び副指導教員を加えることができる。
- (4) 主査及び副査は、原則として当該学生の QE1 実施委員会委員から指名する。

3. 審査手順等

- (1) 審査委員会から指名された専門委員会の主査及び副査は、当該学位論文の審査を依頼される。
- (2) 最終試験を行う。
- (3) 専門委員会は学位論文審査の合否判定案を含む学位論文審査報告書（別紙グローバル教育院様式 5）を作成する。
- (4) 学位論文審査報告書の論文の要旨は、2000 字程度（英語の場合、1000 単語程度）とする。
- (5) 学位論文審査報告書の審査の要旨は、300 字程度（英語の場合、150 単語程度）とする。
- (6) 専門委員会は学位論文審査報告書をもって、合否判定案を含む審査結果を審査委員会へ報告する。

（評価項目）

<学位論文の審査に係る基準>

- ① 人間力：地球航海を先導できる世界トップリーダーにふさわしい人間力があるか。
- ② 企画力・独創性：テーマの設定及び世界の動向を理解し、自己の計画の意義、独創性、実現可能性並びに期待される成果を説明する能力があるか。

- ③ 成果：ヒトの生物学の分野において、博士の学位に相応しい研究・活動成果が得られ、相応しい体裁にまとめられているか。
- ④ プロジェクト推進能力：成果の信頼性、結果の意義の理解及び計画性があるか。
- ⑤ 総括力：結果を重ねて企画提案書又は学術論文を構成する能力、論理的で説得力のある文書作成能力及びプレゼンテーション能力があるか。

<最終試験に係る基準>

- ① 世界に貢献するという明確な意志及び真摯な態度であるか。
- ② 国際的な英語力検定試験で保証された英語力があるか。
- ③ 国際社会で自在に交渉することができるコミュニケーション能力があるか。
- ④ 我が国の医師に匹敵するヒトに関する生物学の専門基礎知識があるか。
- ⑤ 生命科学、計算科学及び物質科学を駆使し社会ニーズが高い課題を自立して解決する能力があるか。

(評価基準)

上記の評価項目すべてを満たす学位論文であること、最終試験が合格であることが博士の学位授与の要件である。